

20歳の舞台! Myuで育った姿見てほしい



演劇ファミリー Myu
ひろき あおい
廣木葵さん

「“みの~れ”はもう一つの家」と瞳を輝かせ笑顔で話す廣木さん。(写真は稽古の様子)

みの~れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.95

風薫る五月、萌木色の若葉が優しくゆれてマイナスイオンたっぷりシャワーが心地よい季節になりました。レモン色で可愛らしいモッコウバラや、色とりどりのジャーマンアイリスも綺麗ですね。今回は7月5日に行われるMyuユースプロジェクト・オリジナルミュージカル「Twinkle★Twinkle」に出演する、みの~れ住民劇団演劇ファミリーMyuのメンバーで小美玉市堅倉地区にお住いの廣木葵さん取材します。

ミュージカルは創・演とも楽しい

廣木さんは、桜美林大学芸術文化学群演劇専修の2年生。Myuに入ってから11年になります。「みの~れのこけら落とし公演『田んぼの神様』の後に行われた、パントマイムのワークショップに小学1年生で参加しました。その時、仲間になった中学生のお姉さんがワークショップのたびにお手紙をくれて、小学3年生の時に「光れ!」でみの~れの舞台デビューをしました。それからほとんど休むことなく舞台には出ています」とニコリ。

高校に入学して陸上部で活躍! 3年生の時に幅跳びと、三段跳びで関東大会に出場したことで体育の先生になろうと思ったいた廣木さんでしたが、「小学生で新体操・中学生でバレエ部・高校生で陸上部と部活を選ぶのにもMyuを取るか部活を取るか迷いました。部活が頑張れたのも辛いです。Myuの練習があったから

です。決めるのが遅くなりましたが、やはり大学で演劇を学びたいと思い、みの~れに深い係わりがある能祖将夫さんが教授を務める桜美林大学を選びました。能祖さんがプロデュースした『動物の謝肉祭』のワークショップに小学1年で参加した時は、能祖さんがこんなに偉い人だとは思いませんでした(笑)。昨年の夏、能祖さんの創っている舞台のオーディションがあつて、100人受けて10人しか受からないという1人を選びましたので、何が何でも頑張ろうと思えました。人生で初めての舞台も大学に入って初めての舞台も能祖さんです」と爽やかな笑顔で話してくれました。

「東京の大学に行くことになって、Myuの小学生たちから沢山お手紙をもらい『あおちゃんみたいになりたい』って書いてあり泣きそうになったり、大学の入学式前の、さくらフェスの舞台が終わったあとに、泣きながら一言話したこともありました。そのときは、子ども達だけでなく、大人たちも泣いていたのを、後で写真で見たりビックリしました。」と廣木さん。

7月5日の「Twinkle★Twinkle」への意気込みを聞いてみると、「今回は、双子の妖精役で出演します。若い人たちが中心となって、プロデュース・キャストینگ・稽古内容も自分たちで考える・・・というところからやらせてもらっています。私と晴香(新井晴香*もう一人の双子役)は、ずーっとMyuに関わってきたのですごく思い入れがある舞台です。『東京で勉強してきます』って行って帰ってこないんじゃないかと、地元でスキルアップした自分を観てもらえたらという思いからこの企画が出来たんじゃないかと思っています。自分の中では、今までと違って、一味違う上を目指している作品なので頑張っているし、若者たちでさらにMyuを活性化していきたいと思っています」と笑顔で話してくれました。

7月5日は織姫★彦星と素敵な妖精たちと一緒にダンスミュージカルを楽しんでみませんか。
(藤田 佐知子)